



MBT NEWS LETTER

第353号
'25/07/22

デロイトトーマツグループが推進の“起業家教育プログラム” 7/18、奈良医大で起業に関心を持つ学生・教職員が多数参加で開催

- GAFAがアメリカ経済を圧倒的に牽引するように、我が国においても革新的な技術やアイデアを基に、新しいビジネスモデルを創出し、短期間で急成長を目指すスタートアップの立ち上げが焦眉の急として、国策としても推進されています。
- このような時代背景を踏まえ、有限監査法人トーマツグループは起業家の育成、発掘、成長を支援する「UPDATE EARTHプロジェクト」（詳細は下段を参照）」を推進しています。



- 奈良医大でも細井裕司理事長から医療研究者や学生に向けてアントレプレナーシップの勧めが説かれ、JST（科学技術振興機構）の支援を受けたKSAC-GAPファンド事業にも積極的に参加し、2024年度で2件採択されるなどスタートアップの機運が高まりつつあります。
- これらの背景の下、奈良医大産学官連携グループとMBTが連携して、上記「UPDATE EARTHプロジェクト」に参加し7月18日（金）、デロイトトーマツグループの中島仁氏を講師にお招きし「INNOVATION PROGRAM」を開催しました（左写真）。
- 中島氏から、グローバルで経済を牽引しているのはスタートアップからスタートしたユニコーン企業*であり、アメリカの739社が断トツで日本は8社しかなく世界から遅れをとっている現状の説明がありました。
- 起業に高い関心を有する約30名の参加者は、熱心にメモをとり大きな刺激を受けました。

*ユニコーン企業：「設立から10年以内」「企業評価額が10億ドル以上」「非上場企業」「テクノロジー企業」といった4つの条件をすべて満たしている企業

UPDATE EARTHプロジェクトとは・・・

- 本プロジェクトは、デロイトトーマツグループのデロイトトーマツベンチャーサポート株式会社が行うプロジェクトで、スタートアップ支援・新規事業創出支援・官公庁や自治体との連携によるイノベーターの育成支援等を軸に、イノベーションを加速させるための事業を展開しています。



- その内容は、全国規模で行う挑戦的取り組みで、日本全国の児童・学生から社会人までを対象に起業家育成講座を行い、起業に向けた裾野を広げ、様々なビジネスコンテストと連携して、ビジネスアイデアを全国から集め、支援すべき起業家の発掘と事業拡大を支援するものです。
- その具体的取り組みは3つのサイクルで進められており、その詳細は以下のようです。
- ①育成：**学生から社会人まで幅広い層に起業家教育を実施し、イノベーターの増大を図る
- ②発掘：**地球をUPDATEするアイデアを全国から多数集め、支援や成長させるべき起業家を発掘する
- ③成長：**受賞者を“Born Globalな勝たせるべき起業家”として事業成長環境を用意し、出資やPRなど多様な事業成長支援を実施する

発行

(一般社団法人) MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内

(公立大学法人) 奈良県立医科大学

担当 塩山

T E L : 0744-29-8853 (直通) 、 F A X : 050-3164-5598、 Email: mbt@mbt.or.jp